

# 2020年度第1四半期報告について

日本生命保険相互会社（社長：清水博）の2020年度第1四半期（2020年4月1日～2020年6月30日）の業績をお知らせいたします。

## <目次>

1. 主要業績	・・・1
(1) 年換算保険料	
(2) 保有契約高及び新契約高	
2. 資産運用の実績（一般勘定）	・・・2
(1) 資産の構成	
(2) 有価証券の時価情報	
(3) 金銭の信託の時価情報	
3. 四半期貸借対照表	・・・5
4. 四半期損益計算書	・・・7
5. 経常利益等の明細（基礎利益）	・・・9
6. ソルベンシー・マージン比率	・・・10
7. 特別勘定の状況	・・・11
(1) 特別勘定資産残高の状況	
(2) 保有契約高	
8. 保険会社及びその子会社等の状況	・・・12
(1) 主要な業務の状況を示す指標	
(2) 連結の範囲及び持分法の適用に関する事項	
(3) 四半期連結財務諸表の作成の基礎	
(4) 四半期連結財務諸表の作成方針	
(5) 四半期連結貸借対照表	
(6) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
(7) 連結ソルベンシー・マージン比率	
(8) セグメント情報	



2020年8月7日  
日本生命保険相互会社

## 1. 主要業績

### (1) 年換算保険料

#### ・保有契約

(単位:億円、%)

区分	2019年度末	2020年度 第1四半期会計期間末	
		前年度 末比	
個人保険	27,001	26,724	99.0
個人年金保険	10,616	10,594	99.8
合計	37,618	37,318	99.2
うち医療保障・生前給付保障等	6,571	6,532	99.4

#### ・新契約

(単位:億円、%)

区分	2019年度 第1四半期累計期間	2020年度 第1四半期累計期間	
		前年 同期比	
個人保険	394	161	40.9
個人年金保険	177	44	24.8
合計	572	205	35.9
うち医療保障・生前給付保障等	155	41	26.8

- (注) 1. 「年換算保険料」とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。  
 2. 「医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付(入院給付、手術給付等)、生前給付保障給付(特定疾病給付、介護給付等)、保険料払込免除給付(障がいのみを事由とするものは除く。特定疾病罹患、介護等を事由とするものを含む)等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。  
 3. 新契約年換算保険料は、新契約に転換による純増加を加えた数値です。

### (2) 保有契約高及び新契約高

#### ・保有契約高

(単位:千件、億円、%)

区分	2019年度末		2020年度第1四半期会計期間末			
	件数	金額	件数	金額		
				前年度 末比	前年度 末比	
個人保険	29,111	1,325,065	28,979	99.5	1,311,214	99.0
個人年金保険	4,088	248,128	4,070	99.6	247,251	99.6
団体保険	—	978,894	—	—	987,717	100.9
団体年金保険	—	133,871	—	—	134,037	100.1

- (注) 1. 個人年金保険の金額については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。  
 2. 団体年金保険の金額については、責任準備金の金額です。

#### ・新契約高

(単位:千件、億円、%)

区分	2019年度第1四半期累計期間				2020年度第1四半期累計期間					
	件数	金額			件数	前年 同期比	金額			
		新契約	転換による 純増加				前年 同期比	前年 同期比	新契約	転換による 純増加
個人保険	1,216	15,076	14,883	192	339	27.9	5,498	36.5	5,518	△19
個人年金保険	56	4,029	3,984	44	14	25.7	1,036	25.7	1,036	0
団体保険	—	1,027	1,027		—	—	1,713	166.8	1,713	
団体年金保険	—	1	1		—	—	0	17.5	0	

- (注) 1. 新契約は保障追加制度を利用して加入された契約を含み、転換契約は保障見直し制度と一部保障見直し制度を利用して加入された契約となります。  
 2. 件数は、新契約に転換後契約を加えた数値です。  
 3. 新契約・転換による純増加の個人年金保険の金額は年金支払開始時における年金原資です。  
 4. 新契約の団体年金保険の金額は第1回収入保険料です。

## 2. 資産運用の実績(一般勘定)

### (1) 資産の構成

(単位:億円、%)

区分	2019年度末		2020年度第1四半期会計期間末	
	金額	占率	金額	占率
現預金・コールローン	9,965	1.5	7,732	1.1
買現先勘定	—	—	—	—
債券貸借取引支払保証金	—	—	—	—
買入金銭債権	2,190	0.3	2,072	0.3
商品有価証券	—	—	—	—
金銭の信託	337	0.0	92	0.0
有価証券	564,276	83.1	588,723	84.0
公社債	246,581	36.3	253,498	36.2
株式	78,582	11.6	87,766	12.5
外国証券	204,714	30.2	213,276	30.4
公社債	141,910	20.9	145,617	20.8
株式等	62,803	9.3	67,658	9.7
その他の証券	34,398	5.1	34,182	4.9
貸付金	74,118	10.9	75,243	10.7
保険約款貸付	5,542	0.8	5,858	0.8
一般貸付	68,575	10.1	69,385	9.9
不動産	16,587	2.4	16,591	2.4
うち投資用不動産	10,613	1.6	10,391	1.5
繰延税金資産	—	—	—	—
その他	11,238	1.7	10,601	1.5
貸倒引当金	△26	△0.0	△33	△0.0
一般勘定資産計	678,687	100.0	701,023	100.0
うち外貨建資産	196,873	29.0	204,580	29.2

(注)「不動産」については、土地・建物・建設仮勘定を合計した金額を計上しています。

## (2) 有価証券の時価情報(売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの)

(単位:億円)

区分	2019年度末					2020年度第1四半期会計期間末				
	帳簿価額	時価	差損益		帳簿価額	時価	差損益			
			差益	差損			差益	差損		
責任準備金対応債券	217,703	255,132	37,429	37,657	△227	224,164	258,094	33,930	34,865	△934
満期保有目的の債券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
子会社・関連会社株式	1,342	1,904	562	563	△0	1,342	2,380	1,038	1,038	—
其他有価証券	275,572	333,416	57,843	64,110	△6,267	275,855	350,515	74,659	78,248	△3,588
公社債	30,008	31,930	1,922	2,007	△85	30,182	32,216	2,034	2,103	△68
株式	41,421	73,202	31,780	34,749	△2,968	41,317	82,385	41,067	43,527	△2,459
外国証券	170,827	192,868	22,041	25,114	△3,073	171,357	200,908	29,550	30,505	△955
公社債	121,223	140,688	19,465	20,943	△1,478	121,397	144,404	23,007	23,443	△436
株式等	49,603	52,180	2,576	4,170	△1,594	49,960	56,503	6,542	7,061	△518
その他の証券	31,223	33,320	2,096	2,231	△134	31,067	33,070	2,003	2,104	△100
買入金銭債権	462	465	2	8	△5	400	404	3	7	△4
譲渡性預金	1,629	1,628	△0	0	△0	1,530	1,529	△0	0	△0
合 計	494,618	590,453	95,835	102,331	△6,495	501,361	610,990	109,628	114,152	△4,523
公社債	244,659	283,859	39,199	39,467	△268	251,464	287,250	35,786	36,787	△1,001
株式	41,421	73,202	31,780	34,749	△2,968	41,317	82,385	41,067	43,527	△2,459
外国証券	173,487	196,153	22,665	25,784	△3,118	173,904	204,589	30,684	31,641	△957
公社債	122,550	142,079	19,528	21,051	△1,522	122,610	145,715	23,104	23,542	△438
株式等	50,936	54,073	3,137	4,732	△1,595	51,293	58,874	7,580	8,099	△518
その他の証券	31,232	33,330	2,097	2,232	△134	31,076	33,081	2,005	2,105	△100
買入金銭債権	2,187	2,278	91	97	△6	2,068	2,154	85	90	△4
譲渡性預金	1,629	1,628	△0	0	△0	1,530	1,529	△0	0	△0

(注) 本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。

○時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券の帳簿価額は以下のとおりです。

(単位:億円)

区分	2019年度末	2020年度 第1四半期会計期間末
責任準備金対応債券	—	—
満期保有目的の債券	—	—
非上場外国債券	—	—
その他	—	—
子会社・関連会社株式	10,182	10,472
其他有価証券	5,583	5,930
非上場国内株式(店頭売買株式を除く)	600	600
非上場外国株式(店頭売買株式を除く)	2	3
非上場外国債券	0	—
その他	4,980	5,326
合 計	15,766	16,402

(注) 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券のうち、外貨建資産について為替を評価した差損益は次のとおりです。  
(2019年度末:△376億円、2020年度第1四半期会計期間末:△245億円)

## (3) 金銭の信託の時価情報

(単位:億円)

区分	2019年度末					2020年度第1四半期会計期間末				
	貸借対照表計上額	時価	差損益			貸借対照表計上額	時価	差損益		
			差益	差損				差益	差損	
金銭の信託	337	337	—	—	—	92	92	—	—	—

(注) 1. 時価の算定は、金銭の信託の受託者が合理的に算出した価格によっています。

2. 貸借対照表計上額には、金銭の信託内で保有しているデリバティブ取引に係る差損益を含んでいます。

## ・運用目的の金銭の信託

(単位:億円)

区分	2019年度末		2020年度第1四半期会計期間末	
	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益
運用目的の金銭の信託	337	279	92	△227

(注) 貸借対照表計上額及び当期の損益に含まれた評価損益には、デリバティブ取引に係る差損益を含んでいます。

## ・責任準備金対応、満期保有目的、その他の金銭の信託

2019年度末、2020年度第1四半期会計期間末に該当の残高はありません。

### 3. 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	2019年度末要約貸借対照表 (2020年3月31日現在)	2020年度第1四半期会計期間末 (2020年6月30日現在)
		金額	金額
(資産の部)			
現金及び預貯金		1,020,742	824,290
有価証券		422,906	314,967
貸付金		219,068	207,268
貸付債権		33,779	9,224
貸付信託証券		57,108,802	59,584,938
(うち国内債)		(22,096,083)	(22,624,353)
(うち地方債)		(779,033)	(837,939)
(うち社債)		(2,114,396)	(2,218,152)
(うち株外証券)		(7,901,082)	(8,829,365)
(うち外国証券)		(20,651,209)	(21,520,876)
貸付金		7,411,809	7,524,377
貸付金		554,285	585,827
貸付金		6,857,523	6,938,549
有形固定資産		1,681,851	1,682,261
無形固定資産		192,824	191,802
再評価損		379	416
その他の資産		941,616	870,529
支払引当金		75,110	75,000
投資当金		△2,686	△3,351
		△35,068	△35,797
資産の部合計		69,071,135	71,245,928
(負債の部)			
保険契約準備金		57,454,671	57,825,946
支責任準備金		190,602	186,143
再社員の保険		56,220,282	56,473,462
再社員の保険		1,043,785	1,166,340
再社員の保険		403	520
再社員の保険		1,155,320	1,155,320
再社員の保険		2,550,660	2,887,160
再社員の保険		65,352	35,402
再社員の保険		7,481	6,847
再社員の保険		5,330	5,346
再社員の保険		2,472,495	2,839,564
再社員の保険		92	122
再社員の保険		374,460	375,684
再社員の保険		4,304	-
再社員の保険		8,864	9,494
再社員の保険		1,448,014	1,486,435
再社員の保険		98,548	489,005
再社員の保険		103,072	102,633
再社員の保険		75,110	75,000
負債の部合計		63,273,522	64,407,324
(純資産の部)			
基金		100,000	100,000
基金		1,300,000	1,300,000
基金		651	651
基金		353,780	229,724
基金		18,394	18,993
基金		335,386	210,731
基金		71,917	71,917
基金		351	3,351
基金		63,729	71,855
基金		14,790	2,069
基金		170	170
基金		184,426	61,367
基金		1,754,431	1,630,375
基金		4,165,946	5,383,746
基金		△68,056	△119,822
基金		△54,706	△55,695
基金		4,043,182	5,208,228
純資産の部合計		5,797,613	6,838,604
負債及び純資産の部合計		69,071,135	71,245,928

(注) \* 2019年度末要約貸借対照表の四半期末処分剰余金は、当期末処分剰余金を示しております。

## 注記事項

### (四半期貸借対照表関係)

1. 2019年度剰余金処分案は、2020年7月2日の総代会にて承認されているため、当第1四半期会計期間末における四半期貸借対照表はこれを反映して作成しております。なお、総代会で承認された剰余金処分の内容は、次のとおりです。

イ 当期末処分剰余金		184,426 百万円
ロ 任意積立金取崩額		14,983 百万円
ハ 剰余金処分額		199,410 百万円
社員配当準備金		185,145 百万円
損失填補準備金		599 百万円
基金利息		277 百万円
任意積立金		13,388 百万円
ニ 次期繰越剰余金(イ+ローハ)		-
  
2. 当第1四半期累計期間に係る法人税及び住民税ならびに法人税等調整額は、当期に係る剰余金処分による圧縮積立金、社員配当準備金等の積み立ておよび取り崩しを前提として計算しております。
  
3. 2020年7月2日の総代会において、役員退職慰労金制度を廃止することを決議しております。これにより、同制度に基づく支払いが確定したことから、未払分 4,432 百万円を役員退職慰労引当金から取り崩し、未払金に振り替え、その他の負債に表示しております。
  
4. 当社は、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(2020年3月31日企業会計基準委員会実務対応報告第39号)に基づき、繰延税金資産および繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいて計上しております。
  
5. 2018年度より、一部の個人年金保険契約を対象に責任準備金を5年間にわたり追加して積み立てることとしております。また、2019年度より、一部の終身保険契約(一時払契約を含む)について、保険料払込終了後契約等を対象に、責任準備金を追加して積み立てることとし、当第1四半期会計期間末において既に保険料払込終了後等となっている契約(一時払契約を含む)については、6年間にわたり段階的に積み立てることとしております。この結果、当第1四半期累計期間に追加積み立てを行わなかった場合に比べ、責任準備金が 27,953 百万円増加し、また、経常利益および税引前四半期純剰余金が 27,953 百万円減少しております。
  
6. 社員配当準備金の異動状況は、次のとおりです。

イ 当期首現在高		1,043,785 百万円
ロ 前期に係る剰余金処分案に基づく繰入額		185,145 百万円
ハ 当第1四半期累計期間社員配当金支払額		67,952 百万円
ニ 利息による増加額		5,360 百万円
ホ 当第1四半期会計期間末現在高(イ+ローハ+ニ)		1,166,340 百万円
  
7. 消費貸借契約により貸し付けている有価証券の四半期貸借対照表価額は 3,215,653 百万円であります。

4. 四半期損益計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	2019年度第1四半期累計期間 〔 2019年4月1日から 2019年6月30日まで 〕	2020年度第1四半期累計期間 〔 2020年4月1日から 2020年6月30日まで 〕
		金額	金額
経 常 収 益		1,519,387	1,588,523
保 険 料 等 収 入		1,136,332	991,441
（うち保 険 料）		(1,136,212)	(991,068)
資 産 運 用 収 益		343,679	569,323
（うち利息及び配当金等収入）		(314,423)	(307,083)
（うち金 銭 の 信 託 運 用 益）		(147)	(-)
（うち有 価 証 券 売 却 益）		(25,230)	(220,313)
（うち特別勘定資産運用益）		(3,188)	(33,704)
そ の 他 経 常 収 益		39,375	27,759
経 常 費 用		1,453,699	1,479,999
保 険 金 等 支 払 金		927,095	935,395
（うち保 険 金）		(249,166)	(239,917)
（うち年 金）		(197,509)	(194,992)
（うち給 付 金）		(197,515)	(177,773)
（うち解 約 返 戻 金）		(211,491)	(217,438)
（うちそ の 他 返 戻 金）		(71,290)	(104,804)
責 任 準 備 金 等 繰 入 額		234,502	258,541
責 任 準 備 金 繰 入 額		229,099	253,180
社 員 配 当 金 積 立 利 息 繰 入 額		5,402	5,360
資 産 運 用 費 用		81,636	94,473
（うち支 払 利 息）		(7,980)	(7,031)
（うち金 銭 の 信 託 運 用 損）		(-)	(26,554)
（うち有 価 証 券 売 却 損）		(10,304)	(1,071)
（うち有 価 証 券 評 価 損）		(25,342)	(533)
（うち金 融 派 生 商 品 費 用）		(7,256)	(40,710)
事 業 費		151,260	140,931
そ の 他 経 常 費 用		59,205	50,657
経 常 利 益		65,688	108,524
特 別 利 益		71	29
固 定 資 産 等 処 分 益		71	29
特 別 損 失		15,616	42,334
固 定 資 産 等 処 分 損		456	1,492
減 損 損 失		1,049	2,420
価 格 変 動 準 備 金 繰 入 額		14,110	38,421
税 引 前 四 半 期 純 剰 余		50,143	66,219
法 人 税 及 び 住 民 税		51,605	58,463
法 人 税 等 調 整 額		△56,025	△52,622
法 人 税 等 合 計		△4,420	5,840
四 半 期 純 剰 余		54,564	60,378



## 注記事項

(四半期損益計算書関係)

1. 減損損失に関する主な内容は、次のとおりです。

①資産をグルーピングした方法

賃貸用不動産等および遊休不動産等については、それぞれの物件ごとに1つの資産グループとしております。また、保険事業等の用に供している不動産等については、保険事業等全体で1つの資産グループとしております。

②減損損失の認識に至った経緯

一部の資産グループに著しい収益性の低下または時価の下落が見られたことから、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

③減損損失を認識した資産グループと減損損失計上額の固定資産の種類ごとの内訳

(単位:百万円)

用途	土地	建物	合計
遊休不動産等	1,649	771	2,420
合計	1,649	771	2,420

④回収可能価額の算定方法

回収可能価額は、物件により使用価値または正味売却価額を適用しております。

なお、使用価値については、原則として将来キャッシュ・フローを3.0%で割り引いて算定しております。また、正味売却価額については、不動産鑑定評価基準に基づく鑑定評価額または基準価格等を基に算定しております。

5. 経常利益等の明細(基礎利益)

(単位:百万円)

	2019年度 第1四半期累計期間	2020年度 第1四半期累計期間
基礎利益 A	126,132	122,992
キャピタル収益	68,545	227,490
商品有価証券運用益	—	—
金銭の信託運用益	147	—
売買目的有価証券運用益	—	—
有価証券売却益	25,230	220,313
金融派生商品収益	—	—
為替差益	—	7,176
その他キャピタル収益	43,166	—
キャピタル費用	85,219	131,251
商品有価証券運用損	—	—
金銭の信託運用損	—	26,554
売買目的有価証券運用損	—	—
有価証券売却損	10,304	1,071
有価証券評価損	25,342	533
金融派生商品費用	7,256	40,710
為替差損	16,557	—
その他キャピタル費用	25,758	62,380
キャピタル損益 B	△16,674	96,238
キャピタル損益含み基礎利益 A+B	109,458	219,230
臨時収益	28	—
再保険収入	—	—
危険準備金戻入額	—	—
個別貸倒引当金戻入額	28	—
その他臨時収益	—	—
臨時費用	43,798	110,705
再保険料	—	—
危険準備金繰入額	11,685	81,141
個別貸倒引当金繰入額	—	882
特定海外債権引当勘定繰入額	—	—
貸付金償却	—	—
その他臨時費用	32,113	28,682
臨時損益 C	△43,769	△110,705
経常利益 A+B+C	65,688	108,524

(参考) その他項目の内訳

(単位:百万円)

	2019年度 第1四半期累計期間	2020年度 第1四半期累計期間
基礎利益	△17,408	62,380
外貨建保険商品対応のためのスワップ取引及び ヘッジを目的としたスワップ取引に係る受取・支払利息	4,211	4,808
外貨建保険契約に係る市場為替レート変動の影響額	△43,166	56,088
マーケット・ヴァリュア・アジャストメントに係る解約返戻金額変動の影響額	21,546	1,484
その他キャピタル収益	43,166	—
外貨建保険商品対応のためのスワップ取引及び ヘッジを目的としたスワップ取引に係る受取・支払利息	—	—
外貨建保険契約に係る市場為替レート変動の影響額	43,166	—
マーケット・ヴァリュア・アジャストメントに係る解約返戻金額変動の影響額	—	—
その他キャピタル費用	25,758	62,380
外貨建保険商品対応のためのスワップ取引及び ヘッジを目的としたスワップ取引に係る受取・支払利息	4,211	4,808
外貨建保険契約に係る市場為替レート変動の影響額	—	56,088
マーケット・ヴァリュア・アジャストメントに係る解約返戻金額変動の影響額	21,546	1,484
その他臨時収益	—	—
投資損失引当金戻入額	—	—
その他臨時費用	32,113	28,682
投資損失引当金繰入額	1,459	729
保険業法施行規則第69条第5項に基づく責任準備金繰入額	30,654	27,953

## 6. ソルベンシー・マージン比率

(単位:百万円)

項目	2019年度末	2020年度 第1四半期 会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	13,865,444	15,471,404
基金・諸準備金等	5,143,643	5,324,866
基金等	1,569,008	1,630,375
価格変動準備金	1,448,014	1,486,435
危険準備金	1,878,267	1,959,408
一般貸倒引当金	1,035	1,328
その他	247,318	247,318
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90%	5,025,159	6,496,271
土地の含み損益×85%	479,243	477,549
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	1,697,908	1,703,764
負債性資本調達手段等	1,545,320	1,545,320
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、 マージンに算入されない額	—	—
控除項目	△55,023	△55,023
その他	29,191	△21,344
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)	2,831,718	3,069,190
保険リスク相当額 $R_1$	115,290	114,948
第三分野保険の保険リスク相当額 $R_8$	85,115	84,910
予定利率リスク相当額 $R_2$	348,663	346,329
最低保証リスク相当額 $R_7$	5,620	5,617
資産運用リスク相当額 $R_3$	2,410,869	2,646,622
経営管理リスク相当額 $R_4$	59,311	63,968
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	979.2%	1,008.1%

(注) 1. 2019年度末は、保険業法施行規則第86条、第87条及び平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。

2020年度第1四半期会計期間末は、これらの規定に準じて、当社が合理的と判断する方法で算出しています。

2. 最低保証リスク相当額の算出に際しては、標準的方式を使用しています。

## 7. 特別勘定の状況

### (1) 特別勘定資産残高の状況

(単位:百万円)

区分	2019年度末	2020年度 第1四半期会計期間末
	金額	金額
個人変額保険	94,319	97,973
個人変額年金保険	28,017	28,308
団体年金保険	1,080,089	1,017,303
特別勘定計	1,202,426	1,143,585

### (2) 保有契約高

#### ・個人変額保険

(単位:件、百万円)

区分	2019年度末		2020年度第1四半期会計期間末	
	件数	金額	件数	金額
変額保険(有期型)	11,312	4,567	11,172	4,272
変額保険(終身型)	31,271	436,503	31,126	434,051
合計	42,583	441,071	42,298	438,323

#### ・個人変額年金保険

(単位:件、百万円)

区分	2019年度末		2020年度第1四半期会計期間末	
	件数	金額	件数	金額
個人変額年金保険	33,818	28,001	33,505	28,294

## 8. 保険会社及びその子会社等の状況

### (1) 主要な業務の状況を示す指標

(単位:億円)

項目	2019年度 第1四半期連結累計期間	2020年度 第1四半期連結累計期間
経常収益	19,297	20,099
経常利益	725	1,232
親会社に帰属する四半期純剰余	513	676
四半期包括利益	1,195	12,682

項目	2019年度末	2020年度 第1四半期連結会計期間末
総資産	800,811	824,344
ソルベンシー・マージン比率	1,047.5%	1,080.0%

### (2) 連結の範囲及び持分法の適用に関する事項

連結される子会社および子法人等数	15社
持分法適用の非連結の子会社および子法人等数	0社
持分法適用の関連法人等数	15社
期中における重要な関係会社の異動について	なし

### (3) 四半期連結財務諸表の作成の基礎

保険業法施行規則第59条の7は、保険業法第111条第6項に規定する保険契約者その他の顧客が当該保険会社およびその子会社等の業務および財産の状況を知るために参考となるべき事項のうち特に重要なものについて開示する努力をすることを求めています。本四半期連結財務諸表は、当該努力義務の履行のため、生命保険協会が作成した第1・第3四半期発表様式モデル（以下「四半期報告モデル」という）および我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して作成されております。なお、四半期報告モデルは、前述の努力義務の履行を目的として作成されているため、四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則に定められている開示とは異なっております。

### (4) 四半期連結財務諸表の作成方針

重要な変更はありません。

## (5) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

期 別 科 目	2019年度末 要約連結貸借対照表 (2020年3月31日現在)	2020年度 第1四半期連結会計期間末 (2020年6月30日現在)
	金額	金額
( 資 産 の 部 )		
現 金 及 び 預 貯 金	1,751,037	1,625,646
コ ー ル 一 口 一 シ ン	422,906	314,967
買 入 金 銭 債 権	375,278	338,993
金 銭 の 信 託	33,779	9,224
有 価 証 券	65,084,003	67,688,156
貸 付 金	8,436,650	8,555,183
有 形 固 定 資 産	1,913,574	1,912,788
無 形 固 定 資 産	386,396	380,367
再 保 険 貸 付	69,533	84,004
そ の 他 資 産	1,512,525	1,443,345
繰 延 税 金 資 産	24,318	11,425
支 払 承 諾 見 返 金	76,136	76,026
貸 倒 引 当 金	△4,969	△5,644
資 産 の 部 合 計	80,081,170	82,434,486
( 負 債 の 部 )		
保 険 契 約 準 備 金	66,765,636	67,224,438
支 払 備 金	258,970	253,308
責 任 準 備 金	65,406,129	65,748,119
社 員 配 当 準 備 金	1,043,785	1,166,340
契 約 者 配 当 準 備 金	56,750	56,670
再 保 険 借 付	7,519	6,636
社 債	1,277,620	1,277,620
そ の 他 負 債	3,541,405	3,911,619
役 員 賞 与 引 当 金	92	122
退 職 給 付 に 係 る 負 債	449,594	449,258
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	4,970	659
ポ イ ン ト 引 当 金	8,864	9,494
価 格 変 動 準 備 金	1,531,621	1,571,322
繰 延 税 金 負 債	157,426	558,443
再 評 価 に 係 る 繰 延 税 金 負 債	103,072	102,633
支 払 承 諾	76,136	76,026
負 債 の 部 合 計	73,923,960	75,188,275
( 純 資 産 の 部 )		
基 金	100,000	100,000
基 金 償 却 積 立 金	1,300,000	1,300,000
再 評 価 積 立 金	651	651
連 結 剰 余 金	554,790	437,964
基 金 等 合 計	1,955,441	1,838,615
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	4,199,843	5,476,412
繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	△69,235	△121,460
土 地 再 評 価 差 額 金	△54,706	△55,695
為 替 換 算 調 整 勘 定	△26,406	△60,084
退 職 給 付 に 係 る 調 整 累 計 額	△15,030	△14,135
そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額 合 計	4,034,464	5,225,036
新 株 予 約 権	926	1,128
非 支 配 株 主 持 分	166,377	181,430
純 資 産 の 部 合 計	6,157,210	7,246,210
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	80,081,170	82,434,486

## 注記事項

### (四半期連結貸借対照表関係)

1. 当社の2019年度剰余金処分案は、2020年7月2日の総代会にて承認されているため、当第1四半期連結会計期間末における四半期連結貸借対照表はこれを反映して作成しております。なお、総代会で承認された剰余金処分の内容は、次のとおりです。

イ 当期末処分剰余金	184,426 百万円
ロ 任意積立金取崩額	14,983 百万円
ハ 剰余金処分額	199,410 百万円
社員配当準備金	185,145 百万円
損失填補準備金	599 百万円
基金利息	277 百万円
任意積立金	13,388 百万円
ニ 次期繰越剰余金(イ+ロ-ハ)	-

2. 当第1四半期連結累計期間に係る当社の法人税及び住民税等ならびに法人税等調整額は、当連結会計年度に係る剰余金処分による圧縮積立金、社員配当準備金等の積み立ておよび取り崩しを前提として計算しております。

3. 当社は、2020年7月2日の総代会において、役員退任慰労金制度を廃止することを決議しております。これにより、同制度に基づく支払いが確定したことから、未払分4,432百万円を役員退職慰労引当金から取り崩し、未払金に振り替え、その他負債に表示しております。

4. 当社ならびに連結納税制度を適用している一部の子会社および子法人等は、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(2020年3月31日企業会計基準委員会実務対応報告第39号)に基づき、繰延税金資産および繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいて計上しております。

5. 当社および一部の連結される国内の生命保険会社は、当第1四半期連結累計期間に責任準備金の追加積み立てを行っております。この結果、責任準備金が31,232百万円増加し、また、経常利益および税金等調整前四半期純剰余金が31,232百万円減少しております。

#### イ 当社

2018年度より、一部の個人年金保険契約を対象に責任準備金を5年間にわたり追加して積み立てることとしております。また、2019年度より、一部の終身保険契約(一時払契約を含む)について、保険料払込終了後契約等を対象に、責任準備金を追加して積み立てることとし、当第1四半期連結会計期間末において既に保険料払込終了後等となっている契約(一時払契約を含む)については、6年間にわたり段階的に積み立てることとしております。この結果、当第1四半期連結累計期間に追加積み立てを行わなかった場合に比べ、責任準備金が27,953百万円増加し、また、経常利益および税金等調整前四半期純剰余金が27,953百万円減少しております。

#### ロ 大樹生命保険株式会社

一部の個人年金保険契約を対象に責任準備金を追加して積み立てております。この結果、当第1四半期連結累計期間に追加積み立てを行わなかった場合に比べ、責任準備金が3,279百万円増加し、また、経常利益および税金等調整前四半期純剰余金が3,279百万円減少しております。

6. 社員配当準備金の異動状況は、次のとおりです。

イ 当連結会計期間期首現在高	1,043,785 百万円
ロ 前連結会計年度に係る剰余金処分案に基づく繰入額	185,145 百万円
ハ 当第1四半期連結累計期間社員配当金支払額	67,952 百万円
ニ 利息による増加額	5,360 百万円
ホ 当第1四半期連結会計期間末現在高(イ+ロ-ハ+ニ)	1,166,340 百万円

7. 契約者配当準備金の異動状況は、次のとおりです。

イ 当連結会計期間期首現在高	56,750 百万円
ロ 当第1四半期連結累計期間契約者配当金支払額	3,137 百万円
ハ 利息による増加額	2 百万円
ニ 契約者配当準備金繰入額	3,055 百万円
ホ 当第1四半期連結会計期間末現在高(イーロ+ハ+ニ)	56,670 百万円

8. 消費貸借契約により貸し付けている有価証券の四半期連結貸借対照表価額は 3,501,155 百万円であります。

9. 当社の連結子会社である大樹生命保険株式会社では、一時払外貨建養老保険(米ドル建・豪ドル建)および一時払外貨建終身保険(米ドル建・豪ドル建)を対象に修正共同保険式再保険契約を締結しております。

当該再保険契約により保険リスクを移転し、金利変動時の市場価格調整に伴う責任準備金積増相当額を含めて再保険収入として計上し、保険料等収入に表示しております。

当該修正共同保険式再保険に係る再保険貸の当第1四半期連結会計期間末残高は、72,204 百万円であり、修正共同保険式再保険に付した部分に相当する責任準備金の当第1四半期連結会計期間末残高は、781,188 百万円であります。



## (6) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位:百万円)

科 目	期 別	2019年度 第1四半期連結累計期間 〔2019年4月1日から 2019年6月30日まで〕	2020年度 第1四半期連結累計期間 〔2020年4月1日から 2020年6月30日まで〕
		金額	金額
経常収益		1,929,726	2,009,995
保険料等収入		1,423,335	1,228,877
資産運用収益		444,820	725,538
(うち利息及び配当金等収入)		(349,122)	(345,223)
(うち金銭の信託運用益)		(147)	(-)
(うち売買目的有価証券運用益)		(15,522)	(-)
(うち有価証券売却益)		(40,160)	(227,376)
(うち金融派生商品収益)		(35,466)	(-)
(うち為替差益)		(-)	(106,933)
(うち特別勘定資産運用益)		(3,384)	(44,636)
その他の経常収益		61,570	55,579
経常費用		1,857,137	1,886,768
保険金等支払金		1,136,621	1,133,208
(うち保険金)		(306,569)	(297,590)
(うち年金)		(242,598)	(239,966)
(うち給付金)		(243,011)	(220,528)
(うち解約返戻金)		(261,488)	(258,233)
(うちその他の返戻金)		(72,896)	(106,960)
責任準備金等繰入額		276,590	383,037
責任準備金繰入額		271,184	377,673
社員配当金積立利息繰入額		5,402	5,360
契約者配当金積立利息繰入額		2	2
資産運用費用		164,548	107,892
(うち支払利息)		(9,064)	(7,697)
(うち金銭の信託運用損)		(-)	(26,554)
(うち売買目的有価証券運用損)		(-)	(9,732)
(うち有価証券売却損)		(12,385)	(3,325)
(うち有価証券評価損)		(25,657)	(1,220)
(うち金融派生商品費用)		(-)	(39,626)
(うち為替差損)		(102,654)	(-)
事業費用		202,783	192,174
その他の経常費用		76,593	70,455
経常利益		72,588	123,226
特別利益		108	264
固定資産等処分益		108	262
新株予約権戻入益		-	1
特別損失		16,989	43,673
固定資産等処分損失		564	1,552
減損損失		1,049	2,420
価格変動準備金繰入額		15,375	39,700
契約者配当準備金繰入額		3,245	3,055
税金等調整前四半期純剰余		52,462	76,762
法人税及び住民税等		55,035	64,243
法人税等調整額		△54,633	△57,491
法人税等合計		402	6,752
四半期純剰余		52,060	70,010
非支配株主に帰属する四半期純剰余		689	2,402
親会社に帰属する四半期純剰余		51,371	67,607

## 注記事項

(四半期連結損益計算書関係)

1. 減損損失に関する主な内容は、次のとおりです。

①資産をグルーピングした方法

当社ならびに一部の連結される子会社および子法人等は、賃貸用不動産等および遊休不動産等については、それぞれの物件ごとに1つの資産グループとしております。また、保険事業等の用に供している不動産等については、保険事業等全体で1つの資産グループとしております。

②減損損失の認識に至った経緯

一部の資産グループに著しい収益性の低下または時価の下落が見られたことから、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

③減損損失を認識した資産グループと減損損失計上額の固定資産の種類ごとの内訳

(単位:百万円)

用途	土地	建物等	合計
賃貸用不動産等	-	0	0
遊休不動産等	1,649	771	2,420
合計	1,649	771	2,420

④回収可能価額の算定方法

回収可能価額は、物件により使用価値または正味売却価額を適用しております。

なお、使用価値については、原則として将来キャッシュ・フローを3.0%で割引いて算定しております。また、正味売却価額については、不動産鑑定評価基準に基づく鑑定評価額または基準価格等を基に算定しております。

2. 当第1四半期連結累計期間に係る賃貸用不動産等減価償却費および減価償却費の合計額は21,230百万円、のれん償却額は1,057百万円であります。

3. 当社の連結子会社である大樹生命保険株式会社の保険料等収入に含まれる再保険収入には、一時払外貨建養老保険(米ドル建・豪ドル建)および一時払外貨建終身保険(米ドル建・豪ドル建)の修正共同保険式再保険に係る再保険収入11,967百万円が含まれており、そのうち出再責任準備金調整額(市場価格調整に伴う責任準備金積増相当額を除く)は、△7,347百万円、市場価格調整に伴う責任準備金積増相当額は11,679百万円であります。

当該再保険により、経常利益および税金等調整前四半期純剰余は、それぞれ15,152百万円増加しております。

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

期 別 科 目	2019年度 第1四半期連結累計期間 〔2019年4月1日から 2019年6月30日まで〕	2020年度 第1四半期連結累計期間 〔2020年4月1日から 2020年6月30日まで〕
	金額	金額
四 半 期 純 剰 余	52,060	70,010
そ の 他 の 包 括 利 益	67,451	1,198,229
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	32,144	1,291,416
繰 延 へ ッ ジ 損 益	30,339	△51,730
為 替 換 算 調 整 勘 定	1,092	△29,177
退 職 給 付 に 係 る 調 整 額	2,542	935
持 分 法 適 用 会 社 に 対 す る 持 分 相 当 額	1,332	△13,213
四 半 期 包 括 利 益	119,511	1,268,240
親 会 社 に 係 る 四 半 期 包 括 利 益	114,738	1,259,168
非 支 配 株 主 に 係 る 四 半 期 包 括 利 益	4,773	9,071

## (7) 連結ソルベンシー・マージン比率

(単位:百万円)

項目	2019年度末	2020年度 第1四半期 連結会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	14,656,094	16,384,706
基金・諸準備金等	5,508,422	5,721,840
基金等	1,791,393	1,880,131
価格変動準備金	1,531,621	1,571,322
危険準備金	1,934,764	2,019,522
異常危険準備金	—	—
一般貸倒引当金	2,702	3,007
その他	247,939	247,855
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90%	5,080,551	6,628,407
土地の含み損益×85%	501,626	499,924
未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の合計額	△20,848	△19,606
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	1,935,817	1,942,920
負債性資本調達手段等	1,767,620	1,767,620
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
控除項目	△206,126	△202,271
その他	89,031	45,872
リスクの合計額 $\sqrt{(\sqrt{R_1^2 + R_5^2} + R_8 + R_9)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4 + R_6$ (B)	2,798,230	3,034,132
保険リスク相当額 $R_1$	171,736	167,137
一般保険リスク相当額 $R_5$	—	—
巨大災害リスク相当額 $R_6$	—	—
第三分野保険の保険リスク相当額 $R_8$	97,389	97,184
少額短期保険業者の保険リスク相当額 $R_9$	—	—
予定利率リスク相当額 $R_2$	415,002	412,912
最低保証リスク相当額 $R_7$	9,295	9,343
資産運用リスク相当額 $R_3$	2,300,790	2,535,645
経営管理リスク相当額 $R_4$	59,884	64,444
ソルベンシー・マージン比率		
$\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,047.5%	1,080.0%

(注) 1. 2019年度末は、保険業法施行規則第86条の2、第88条及び平成23年金融庁告示第23号の規定に基づいて算出しています。

2020年度第1四半期連結会計期間末は、これらの規定に準じて、当社が合理的と判断する方法で算出しています。

2. 最低保証リスク相当額の算出に際しては、標準的方式を使用しています。

## (8) セグメント情報

2020年度第1四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）において、当社ならびに連結される子会社および子法人等は、国内外において保険業および保険関連事業（資産運用関連事業、総務関連事業等を含む）を営んでいますが、その他報告すべき重要なセグメントがないため、セグメント情報および関連情報の記載を省略しています。